

# いま、あなたができること ~ヘアドネーション編~



## ヘアドネーションとは？

ヘアドネーションとは、**髪の毛の寄付**のこと。

今回はJHD&Cを通じて、脱毛症や乏毛症、小児ガンなどの治療や外傷など……何らかの病気が原因で髪の毛を失い、ウィッグを必要としている子どもたちに、医療用ウィッグの原料となる毛髪を提供しました。

※JHD&Cは、寄付された髪だけで作ったメディカル ウィッグを頭髮に悩みを抱える18歳以下の子どもたちに無償提供している日本初のNPO法人です。

## 髪がのびるまで

**2年間で伸びた長さはおよそ35cm！**

髪が伸びるスピードは人それぞれ。  
今回は友人と一緒にチャレンジしましたが、友人は60cmも伸びていました。



### ■良かったこと①

**美容院代が浮く。**2年間、ほとんど美容院に行きませんでした。

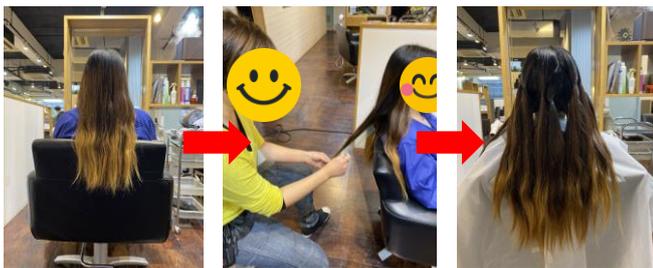
### ■大変だったこと②

**洗髪やドライヤーに時間がかかる。**

こんなに髪を伸ばしたことがなかったので、寝るときにも邪魔になり、結んで寝ていました。

## ヘアドネーションの流れ

- 1** 美容院で『ドネーションカット』を依頼し、提供する長さを決め、小さい束にしていきます。  
今回、提供する髪は45cm！



- 2** 『ドネーションカット』が終わったら、髪を整えて終了。カットした髪は持ち帰ります。



- 3** 『ドナーシート』・『髪の毛』・『返信用封筒』を用意し、ゆうパックなどでNPO法人JHDAC (ジャードック)へ発送すれば完了！



返信用封筒を同封すると、後日ポストカードタイプの受領証が届く！

今回、ヘアドネーションにご協力いただいたのは、『HAIR&SHOES Type AB(川崎市幸区)』様。お世話になりました！



**HAIR&SHOES  
Type AB**

神奈川県川崎市幸区大宮町  
15-1 小森山ビル2F

※取材は2020年1月に行いました。

# いま、あなたができること ～ヘアドネーション編～

## ウィッグができるまで

寄付された髪の毛でウィッグを作り、子どもたちに提供するためには、たくさんのプロセスが必要です。

### 1 ドネーションカットした髪がJHD&C事務局へ届きます。

大きな赤い袋にまとめて入れられており、事務局の方はこの袋を「サンタ袋」と呼んでいるそうです。



### 2 髪の毛・ドナーシート・返信用封筒を仕分けていきます。

<髪の毛のわけ方>

**Sサイズ(31cm未満)**…フルウィッグとして使用するには長さが足りないため、シャンプー等の研究開発するメーカーさんへ評価毛として、美容師さんが使用するカットマネキン用として髪を転売することで、ウィッグ製作費の一部として役立てています。

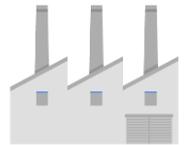
**Mサイズ(31cm以上50cm未満)**…医療用フルウィッグの素材として役立てています。

**Lサイズ(50cm以上)**…ロングヘアのウィッグの素材として理想的な長さです。



### 3 トリートメント処理用の毛髪を選定し、発送します。

ウィッグの素材としてアップサイクルするために不可欠な「トリートメント処理」に入ります。この工程には高度な専門技術と専用の施設が必要なので、専門の施設で行っています。



### 4 トリートメント処理された髪の毛を受け取り・検品し、ウィッグメーカーへ発送します。

処理された髪の毛がもどってくるのはなんと**数カ月後**。この髪の毛を使ってウィッグを製作していきます！制作はタイの工場で行われています。



### 5 制作されたウィッグが事務局へ届いたら、1つ1つ丁寧に検品をしていきます。

熟練の職人の手で総手植えによって製作されるウィッグは、子どもたちの肌への負担が少なく、見た目にも自然で手触りの良いウィッグになっています。



### 6 ウィッグを待つ子どもたちへ発送。

子どもたちの手元にウィッグが届いたら、自分のウィッグを好きなヘアスタイルにカットします。ヘアカットはウィッグカットができる好きなサロンでOK！これからの生活の相棒となる「自分だけのウィッグ」の完成です。



(参考)JHD&C(ジャーダック)ホームページより<https://www.jhdac.org>

## ヘアドネーションは老若男女、 全ての人に参加できるボランティアです。

寄付する髪の毛の条件はたった3つ。

- ①31cm以上の長さがあること
- ②引っ張っただけで切れてしまうほどの極端なダメージがないこと
- ③完全に乾いていること

年齢や国籍、性別、髪色、髪質は問いません。クセ毛やグレイヘア(白髪)でも問題ありません。1つのウィッグを作るには20~30人分の毛髪が必要です。あなたもヘアドネーションにチャレンジしてみませんか。



※取材は2020年1月に行いました。